

新青年部長に聞く！

●就任にあたり

長い冬も終わりを迎え、暖かな春の日差しを感じる季節となりました。皆様におかれましては何かとご多忙の日々をお過ごしのことと存じます。

この度、第65回定期総会にて、木田前部長の後任として平成27年度の青年部長を務めさせて頂くこととなりました。私自身、青年部に在籍して12年が経過しようとしています。その時々において、組合員の皆様、また各関係機関の方々のご指導、ご協力のおかげで今の自分があることに大変感謝しております。誠に

微力ではありますが、役員一同思いをひとつにし、盟友の皆様の山口 智明さん
ご協力のもと精一杯務めさせて頂きたいと思っております。責任と自覚を持って本年度事業を進めて参りますので、今まで同様、組合員の皆様には青年部活動へのご理解、ご協力のほど宜しくお願い致します。



●青年部長として今年の抱負は

農業を取り巻く状況は年々厳しさを増していますが、私達青年部といたしましても問題や状況を的確に捉え、今何を求められ、青年部として何が出来るのかを話し合い、より充実し、意味のある事業を展開していきたいと思えます。

食を担う農業者になるべく知識や技術の習得はもちろんのこと、各種事業を通じて盟友個々の意識の向上を図り、更に継続実施している食育活動により、私達自身も食の大切さを再認識していければと思います。他の農協に比べ少人数ではありますが、農業青年として夢と誇りを持ち、地域農業の更なる振興と魅力のある青年部活動を目指します。

●若い部員に対し先輩としての期待や要望は

青年部は、交流を深め情報交換の出来る良い機会です。困ったことがあった時には気軽に相談でき、助け合える仲間作りの場でもあります。また、農業経営主となるべく基盤を作る場と考えています。仲間の農業に対する姿勢の中に、きっと参考になることがあると思います。家でのご仕事も大変重要ですが、青年部活動にも積極的に参加して頂き、多くの農業青年と交流を深めてもらえたら嬉しいです。

また、1年を通して、皆様には怪我の無いよう十分注意して作業を進められることをお願いいたします。

● 智明さんのモットーは

小さなことをコツコツ取り組むことです。最初から大きなことにチャレンジするより、小さなことを積み重ねていく事は成功体験の積み重ねとなり、やる気が引き出され自信へと繋がります。

また、広い視野で多角的に物事を捉える様に心がけており、地域の先輩や各指導機関等の話の中で良いとされる事を自分の経営に合っているか考え、自分のものとして取り組んでいけるよう努力をしています。

● 今後について

農協改革とＴＰＰの問題は特に注視しなければなりません。この農協改革・ＴＰＰの真の目的は信用・共済事業の分離、そして全農の株式会社化による外国資本の食糧支配にあると言われている。

ＪＡ全中の萬歳会長は任期中の辞意を表明し、今後の農業情勢は変化のスピードを速めるかもしれません。私達青年部員はこの国の農業者として食糧の安全保障を守るため、このような問題と戦っていかなければならないと思います。

JA 札内さくらんぼの会 ふれあい会

ＪＡ札内さくらんぼの会のふれあい会が２月２３日に幕別温泉パークホテル悠湯館で開催され、組合員家庭の８０歳以上の高齢者３１名を招いて健康体操やゲーム、百人一首を通して交流を深めました。

この事業は北海道共同募金会の助成を受けて、平成１５年から毎年実施され、今年は１２回目の開催となりました。

さくらんぼの会会長、高橋専務の挨拶に続いて、午前中は高齢者向けの体操・ゲームなどで楽しみ、午後からは参加者全員で昼食をとり、さくらんぼの会の会員も輪に加わり百人一首をして楽しいひと時を過ごす事ができました。



女性部友の会総会

女性部友の会の定期総会が2月24日に開催され、新年度の事業計画を協議するとともに、役員改選で新執行体制が決定されました。

また、新年度事業計画は夏期研修会（6～7月）、料理講習会（11～12月）、サークル活動（12月）、冬期研修会（1～2月）などが挙げられました。また、女性部行事への積極的な参加する方針が固められました。



JA 札内青年部 第65回定期総

第65回定期総会が2月26日に盟友19名出席のもと、JA会議室で開かれました。

総会の開会にあたり、出席者全員で「農協青年部綱領」の朗唱を行った後、青年部長の開会挨拶、高橋代表理事組合長、幕別町役場経済部部長、十勝地区農協青年部協議会副会長からそれぞれ祝辞を頂き、議事に移りました。

議長選出の後、平成26年度事業報告並びに収支決算報告、平成27年度事業計画並びに収支予算について等の議案第1号から第5号が審議され、原案通り承認されました。

また、任期満了に伴う役員改選で新執行体制が決定されました。

総会終了後は、来賓の方々と青年部員による懇親会が開催され、終始和やかな雰囲気の中で親睦を深めました。



第63回 女性部定期総会

札内農協女性部の第63回定期総会が2月27日に開催され、平成26年度の事業収支決算報告を承認するとともに、新年度の事業計画を協議しました。

25年度より役員任期が2年に変更となった為、役員の改選が行われました。

総会には部員の他、銀鈴会、友の会などの下部組織の代表や来賓など26名が出席しました。27年度事業計画では、下部組織合同の交流や



管外視察研修、1日バス研修、生涯学習、つどいの会の実施などの基本計画を決定、部員拡大のため各地区で積極的な勧誘活動を進める点が確認されました。

TPPから命と暮らしを守ろう！

3月22日に札幌市民ホール・大ホールにて、TPP問題を考える道民会議（全42団体）とTPPを考える市民の会（全18団体）で構成する実行委員会が主催する『TPPから命と暮らしを守ろう！』北海道緊急大集会が開かれ、当組合からは高橋専務をはじめ4名が出席しました。

TPPは原則として関税を全て撤廃することとされており、我が国の農林水産業や農山漁村に深刻な打撃を与え、食料自給率の低下や地域経済・社会の崩壊を招くとともに、景観を保ち、国土を保全する多面的機能も維持できなくなるおそれがあります。また、TPPにより食の安全・安心が脅かされるなど国民生活にも大きな影響を与えることが懸念されます。

集会では、北海道民をはじめ経済団体、一次産業団体、消費者団体、医療団体、行政など、1,500人を超える出席者が「TPP交渉の国会議決を守れ！情報を開示せよ！」と書かれたカードを掲げ、政府へ強く訴えていく姿勢が示されました。